

「日本三大怪魚」の一種 ついに「アカメ」の展示を開始しました!!

伊豆・三津シーパラダイス（住所：静岡県沼津市、支配人：植田行宏）では、本年5月9日に搬入し、バックヤードで飼育を継続していました日本固有の大型魚「アカメ」の展示を開始しましたので、お知らせいたします。一般のお客さまも観覧できるようになりましたので、この機会にぜひご覧ください。



1. 展示期間 2022年6月17日（金）～ ※展示終了時期は未定です。
2. 展示場所 水族館棟「魚の国」内「駿河湾再発見ゾーン」の既存展示水槽
※マアジ、マイワシなどが泳ぐ水槽に「アカメ」を混泳させています。
3. 展示生物 アカメ 1個体 全長：約70cm ※雌雄不明
※生物の状態により、急きよ展示が終了となる場合があります。
他展示生物：マアジ・マイワシなど6種約400個体（アカメ除く）
4. アカメについて
学名：*Lates japonicus* 分類：スズキ目 アカメ科
体高が高く、その名の通り眼が赤く見えます。
最大で全長1mを超える個体もいると言われてはいますが、近年ではそのような大型個体は少なくなっ
てきていると考えられています。
静岡県付近から南の、本州の太平洋岸などに生息するとされていますが、主な生息地として高知県・
宮崎県が有名です。稚魚は汽水域で、成魚は沿岸域から河川下流域まで広く見られます。
「イトウ」「ビワコオオナマズ」と並び「日本三大怪魚」とされ、釣り人にとっては憧れの魚です。
日本固有種で、環境省のレッドリストでは「絶滅危惧IB類」(*)に指定されています。
(*)絶滅危惧IB類とは…近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
5. 今回の個体の展示までの経緯について
本年5月9日（月）、当館近隣の口野地区近海でのシラス網漁で捕獲されたものを、当館に搬入しま
した。捕獲した漁師さんも「50年近く漁をやっていて、初めて見た」とのことで、当館での飼育も初
めてとなりました。その後、体表のスレ傷なども回復し、状態も安定しているため、この度、バック
ヤードの予備水槽から展示水槽へと移動させ、当館初の展示を開始しました。
6. お問い合わせ 伊豆・三津シーパラダイス TEL.055-943-2331 (9:00~17:00)

以上